

ホームページ掲載用シート

子ども会用

No.1

<p>子ども会名（ふりがな） <small>ねむろちくこどもかいいくせいれんらくきょうぎかい</small> 根室地区子ども会育成連絡協議会</p>	<p>連絡先（〇〇方、〇〇気付など具体的に） 〒086-0205 野付郡別海町別海常盤町280番地 別海町教育委員会生涯学習課内 TEL 0153-75-2111（内線3713）</p>
<p>役員 12名 <u>合計 12名</u></p>	
<p>地域の状況：</p> <p>当管内は北海道の最東端に位置し、根室海峡、太平洋に接する。北部は知床半島、南部は根室半島が東に向かって伸びる。中部は根釧台地と呼ばれる丘陵が広がり、大酪農地帯となっている。1市4町のうち1市3町に子ども会があり、それぞれの市町で子ども会活動が活発に行われている。</p>	
<p>発足から現在までの主な沿革</p> <p>平成12年 根室教育局より事務局が移行 以後、2年ごとに各市町が持ち回りで事務局を行う</p> <p>平成24年 根室管内小中学生下の句かるた大会が根子連主催事業となる</p>	
<p>子ども会での活動（年間行事計画）</p> <p>6月 定期総会 地域子ども会育成研究協議会 地域子ども会安全対策研修協議会</p> <p>9月 根室管内地域子ども会のつどい</p> <p>12月～1月 北海道こどもかるた大会根室管内予選会</p> <p>3月 根室管内小中学生下の句かるた大会</p>	
<p>活動プログラムは誰が作りますか…？</p> <p>1 子どもたち 2 子どもと大人の代表 3 大人の作ったプロに子どもの意見を聞く <input checked="" type="checkbox"/> 4 大人だけ 5 その他（</p>	

特色ある活動及びプログラム、自慢できること：

平成26年度「根室管内地域子ども会のつどい」及び「根室地区子ども会安全対策研修」事業報告

●目的

管内の子どもたちが一堂に会し、各種プログラムを通して交流を深めるとともにリーダーとしての資質の向上及び活動中の安全に対する意識を高める機会とする。

●日時

平成26年9月7日（日）10：00～15：00

●場所

別海町農漁村加工体験施設・別海町立別海中央小学校

●対象

小学1年生～中学3年生

●内容

①パン作り体験 ②フロアカーリング体験 ③KYT

●開催時の様子

2年ごとに事務局が変わるため、内容は固定制ではなく、担当した市町の特色溢れる内容となっている。また、小学校低学年から中学生までが参加対象となっているため、小学校高学年や中学生が、自然と小学校低学年の子ども達をサポートする形となり、リーダーとしての資質の向上に役立っていると感じる。

パン作りは、別海町の生乳を使用してパンやケーキなどを作る別海町農漁村加工体験施設を使用し実施した。オープンや生地を発酵させる機械等、高温になる機械を多く使用するため、講師から機械に手で触れたり、機械の周りを走ったりしないようになどの安全指導があった。業務用の大きなオープン等を見るのが初めての子ども達が多く、関心を惹かれていた様子だったが、指導されたことはしっかりと守っていた。時間の関係上、パンの成型からの作業だったが、自分で作ったパンは一段とおいしいかったという感想が聞かれた。

パンを焼いている間の時間で、野外活動をテーマにKYTを実施した。絵を見ながら危険な箇所を指摘していく活動だったが、どのグループも積極的に発言していた。また、低学年の児童には、同じグループの子ども達がわからないところに対してサポートする場面も見られ、グループ全体で活動することができていた。今回のKYTで、野外活動中の危険予知能力の向上をはじめ、異年齢間でのコミュニケーション能力の向上も期待できる。

フロアカーリング体験では、別海町カーリング協会に協力を依頼して実施した。初めてフロアカーリングを行う子どもが大半を占めたため、フロッカーの使い方、周りに配慮しながらゲームを進めていくことなどの安全指導があった。

大人と子どもの混合のグループで試合を行ったが、大人が戦略を立てて子ども達が上手にフロッカーを投げるといふ、相互に協力して試合が行われていた。決勝戦では、敗退したグループの子ども達も一緒に応援していた。

スポーツ競技などの大会ではなく、純粋に根室管内の子ども達が交流することを目的とした機会は非常に少ない。そのため、この事業を通して、管内でたくさんの友達と作ってもらい、友好の輪を広げていってほしい。

子ども会活動における問題点：

事業を開催する際、根室管内規模で開催するため、地域行事や交通手段、移動時間等の関係で参加者が集まらないことが多々ある。

子ども会活動における今後の展望：

参加者が集まるときと集まらないときの違いは、やはり事業の内容ではないかと考える。毎年同じことを行っていたら、1回目は来てもらえても2回目からは来てもらえない。同じことを行うにしても、工夫を参加者にも伝わるように行っていく必要がある。前年踏襲という考え方を捨てて事業内容を考えていかなければならない。

活動の写真



写真の説明：

パン作りの様子。
パン生地をのばしています。

活動の写真



写真の説明：

KYTの様子。
イラストの中の危険だと思う場所を考えています。

活動の写真



写真の説明：

作ったパンを食べている様子。
自分で作ったパンを焼きたてで
食べられて大満足の様です。

活動の写真



写真の説明：

フロアカーリングの様子。
大人も子どもも真剣です。